番場遺跡

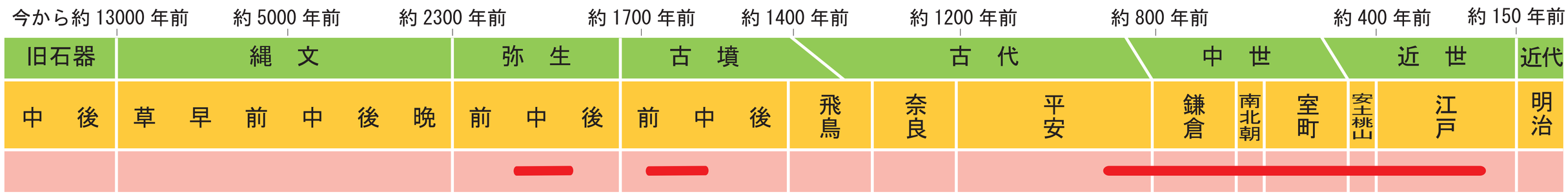
本巣市軽海

発掘区近景

溝状遺構掘削風景

左の写真は推定幅約6.0m、深さ約1.2mの古墳時代前期の溝の掘削風景です。この溝からは、多数の土器や木製品とともに、イシガイの貝殻、桃の種子などが出土しました。また、花粉分析の結果、クワ科の花粉が数多く見つかりました。

番場遺跡は、標高約12mの扇状地末端部に位置し、南北約1200m、東西約700mの範囲に広がる遺跡です。発掘調査では、弥生時代中期の土坑や溝、古墳時代前期の竪穴建物や掘立柱建物、方形周溝墓、土坑、溝などが見つかりました。

方形周溝墓

左の写真は幅約3.3m、深さ約0.9mの古墳時代前期の方形周溝墓の周溝の掘削途中の写真です。写真左奥の土坑は周溝が埋没する過程で掘削されており、出土遺物や埋土の観察結果から、土坑墓の可能性が考えられます。